

再生2年目の梨園へ地域おこし協力隊吉川隊員の奮闘

角田市農業振興公社では、令和4年1月から地域おこし協力隊である吉川一利隊員の受け入れ団体として活動を支援しています。吉川隊員は、休耕梨園の再生活動を行っています。今回、そんな吉川隊員の活動内容を紹介します。



吉川隊員

令和4年の主な活動は、休耕梨園から営農梨園に戻すための準備を行いました。長年休耕していたため枯れてしまった木の撤去作業や、木の成長を促すため果実がなる前に花の間引き作業を行いました。その他、梨園内入りの整地作業等の環境整備を行いました。



草刈りの様子

令和5年の主な活動については、昨年の準備のおかげで梨が収穫できる見通しが立ったため、今年に入ってから収穫に向けて枝の剪定作業や誘引作業（枝同士が重ならないように棚に紐で枝を固定する作業）、定期的な防除作業を行っています。収穫に向けての作業は多種多様で専門知識と経験が必要となり、非常に難しい作業ですが、今までの経験を生かして順調に進めています。



梨の花



梨の実

また、梨園を利用した地域おこしの活動として、道の駅かくた主催の「梨園再生 challenge」というイベントの講師もしています。「梨園再生 challenge」では、角田市以外の地域も含め子供から大人約10名の方を対象に、梨の収穫に向けた一連の作業指導を行います。4月～9月の間に計4回開催される予定で、4月には

梨の花の受粉作業を行い、5月には摘果作業（成熟させる実以外の実を間引く作業）の指導を行いました。今後は、収穫体験を含め2回、継続して同イベントの講師を行う予定です。7月以降の活動については、防鳥網の設置や枝の誘引作業、定期的な消毒・草刈り作業を行い、角田市に来て初となる梨の収穫を目指します。角田市農業振興公社では、今後も吉川隊員の支援をするとともに、就農者への支援と農業の後継者育成に力を注いでいきますので、会員の皆様も応援よろしくお願ひします。



受粉作業の様子



講師を務める吉川隊員

4月からの公社職員体制です。

- |      |                 |
|------|-----------------|
| 事務局長 | 菅原 寛文 (市より派遣)   |
| 次長   | 齋 正昭 主 事 毛利 伝一  |
| 主事   | 加藤 厚志 主 事 高橋 将大 |
| 主事   | 佐藤 裕美 主 事 太田 尚弥 |
| 主事   | 秋山 英輝 (市より公社担当) |



公社のホームページがリニューアルされました。また、公社ではTwitterも行っています。是非併せてご覧ください。※上記の二次元コードからもアクセス可能です。

農業振興公社だより

第28回総会（定時）開催される

角田市農業振興公社の第28回総会（定時）を6月1日（木）午後6時00分から角田市市民センター201会議室で開催しました。33人の会員が出席（議決権行使書出席含め114人）しました。

開会に当たり、黒須理事長より、令和5年産の主食用米の作付目安とその達成状況や農業資材価格や飼料価格が高止まりしている厳しい状況についてお話がありました。また、新型コロナウイルス感染症が感染法上5類に移行したことで、あぶくま農学校事業で実施している目黒区との交流をはじめとして、今年度は各事業が順調にスタートしており、このまま計画通りそれぞれ取り組んで参りたいと挨拶しました。また、当日は、宮城県大河原農業振興部長の佐藤正広様をはじめ、角田市議会議長渡邊 誠様、宮城県議會議員八島利美様、角田市議會議員（総務産業常任委員会委員長）の小湊 毅様にご出席いただきました。総会では、坂津田地区の安齋幸一氏を議長に選出し、「令和4年度事業の報告と正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録の承認について」「役員を選任について」の2つの議案について審議し、両議案とも承認されました。

「役員を選任について」は現役員の任期満了に伴い提案されたもので、理事14名（うち2名新任）と監事2名が（うち1名新任）選任されました。（交代された役員）  
～ 退任された理事・監事～  
理事：熊谷繁寿氏（角田）、堀米浩二氏（西根）  
監事：齋藤 修氏（柴田町）  
～ 新たに選任された理事・監事～  
理事：星 光彦氏（藤尾）、小川一昭氏（角田）  
監事：高橋正明氏（角田）  
※役員は次の方々です。  
理事：黒須 貴氏、舟山健一氏、遠藤裕一氏、河村 亨氏、面川義明氏、島津健一氏、渡邊俊博氏、小川一昭氏、星 光彦氏、六戸明美氏、森谷 茂氏、三浦 徹氏、永田眞由美氏、小野良憲氏  
監事：齋藤巧一氏、高橋正明氏  
黒須理事長、舟山副理事長が再任  
定時総会終了後、新たに選任された理事、監事による理事会を開催し、理事長、副理事長の選定を行いました。その結果、理事長に黒須 貴氏（角田市長）、副理事長に舟山健一氏（JAみやぎ仙南組合長）が再任されました。



△総会の様子

特別会員事業

農産物生産者会議開催  
～ 1層の満足される農作物の提供を～

角田の農産物を毎年楽しみにしていただいているサポート会員の皆様にお届けするための生産者会議を、5月26日、角田市農業振興公社、会議室で開催しました。

この会議は、会員の皆様に喜んでいただける農産物を生産し、お届けしようとする生産者会議です。生産者5名が出席いたしました。会議では、事務局から昨年度までの申込口数の推移及び申込者からのアンケート結果、農畜産物の品目別基準等の説明を行いました。アンケートの内容については、「セットのバランスが良くおいしく食べました」



△会議の様子



◆ 発行 ◆

公益社団法人 角田市農業振興公社  
〒981-1505 宮城県角田市角田字大坊41  
電話 (02224) 63-23228  
FAX (02224) 61-1521  
URL http://www.kakunou.or.jp/

E-mail kakuda@kakunou.or.jp



金津小学校区農業体験交流の写真

金津小学校区交流田では、5月6日（土）に下目黒小学校区有志計26名と、金津小学校区児童希望者12名による交流事業が行われました。枝野小学校と藤尾小学校が統合し、金津小学校となつてからは初の田植え体験となります。参加した両校の児童は、交流田で行われたあぶくま農学校入校式の後、JA青年部の指導のもと、ひとめぼれの手植えを行いました。

悪天候の予報でしたが児童の強い気持ちを通じたおかげか、雨に降られることなく、軟らかい足元に悪戦苦闘しながらも予想をはるかに超えるスピードで田植え体験を終えました。



角田絆交流事業の写真

絆交流田では、5月20日（土）に緑ヶ丘小学校区有志計42名を迎え、角田絆交流事業の田植え体験が行われ、JA青年部北郷支部の指導のもと、ひとめぼれの手植えを行いました。

あいにくの曇り空でしたが、強い日差しが照り付けなかったことで作業に適した環境となり、児童たちと保護者の方々はスムーズに田植えを終えられました。

手植え終了後に希望した児童に対し、JA青年部北郷支部の方が用意した田植え機の乗車体験も行われ、普段できない体験に戸惑いつつも楽しそうな表情をしていました。



北郷小学校体験学習の写真

北郷小学校では、5月24日（水）に5年生28名によるあぶくま農学校の田植え体験学習が行われました。

あぶくま農学校入校式を校舎玄関前でを行い、学習田に移動しました。

学習田では、JA青年部北郷支部による田植え指導の後、2班に分かれ、つや姫を手植えしていききました。

田植えをしたことがあるのかと尋ねたところ、未経験の児童が大半を占めていました。始めはぬかるみに足を取られそうになっていましたが、何度か植えているうちに慣れていき、最後の方には経験者との見分けがつかないほど上達していききました。手植え後は服が泥で汚れることを気にもせず駆け回る児童も見受けられました。



西根地区農業体験交流の写真

西根地区田んぼアート横の交流田では、6月3日（土）に月光原小学校区有志計24名と北郷小学校区児童8名による西根地区農業体験交流の田植え体験が行われました。

当日は台風2号の接近に伴い開催が危ぶまれましたが、進路が南にそれた影響で晴天となり無事開催することができました。夏を思わせるような日差しに負けず、両校の児童たちは3班に分かれ元気にべにあそびや、ゆきあそび等合わせて9種の苗を植えていきました。

はじめは足を入れるのを躊躇していた児童もいましたが、田んぼに入ってから打って変わり、真剣な眼差しで取り組む様子が見受けられました。スムーズに進みすぎて物足りなかつたのか、もつと田植えをしたいという声も聞かれました。

金津小学校区農業体験交流事業

あぶくま農学校農業体験学習「春」各団体で田植え

角田絆交流事業

北郷小学校体験学習

西根地区農業体験交流

角田市農業経営者会議 講演会の開催

令和5年3月20日、角田市農業経営者会議（森谷茂会長 会員47名）は、角田地域担い手育成総合支援協議会の共催及び角田市の後援により角田自治センター2階ホールを会場に講演会を行いました。講師にファームサイド（株）代表取締役佐川友彦氏をお招きし、「将来に向けて考える人材採用・育成・組織づくり」をテーマに講演いただきました。

佐川氏は以前にも講演をさせていただいており、大変好評でした。当日は、会員を始め、若手担い手の皆様計23名の参加がございました。

佐川氏からは、経営改善とこれからの農業経営、経営発展に向けた雇用導入、人材育成・採用等について自身が籍をおいている「阿部製園」の実例を踏まえた説明がなされ、参加された方は真剣に耳を傾けており、質疑応答も活発に行われました。

講演会後に行われた佐川氏を交えた懇談会では講演会以上に密な質問もかわされて大変有意義な講演会になりました。

農業経営者会議と致しましては、本年度も多くの事業を実施することにも若手農業者同士の交流の機会も設けていきたいと思っております。

今後とも個々の農業経営に対する新たな知識、情報等を会員の皆様に発信、共有しながら、角田市の農業発展に努めて参ります。

農業簿記勉強会を開催



△研修会の様子

令和5年6月6日・13日・20日・27日の計4日間、角田市農業青色申告会は、角田市農業青色申告会の会員を対象に、農業簿記勉強会を公社会議室で開催しました。

勉強会には、10名が出席しました。宮城県大河原農業改良普及センターから、講師をお招きして、簿記とは何か？から始まり、総勘定元帳の記入方法や、決算書の作成方法に至るまで、詳しく教えていただきました。

令和5年7月2日に開催される、農業簿記検定3級試験の合格に向けた勉強会ということで、受講された皆さんは、講師の先生に農業簿記に関する質問をするなど、熱心に受講していました。

第21回 あぶくま農学校 土の塾 塾生募集

あぶくま農学校「土の塾」は、農家にホームステイしながら、見て、聞いて、触れて、体験する農業塾です。これから農業始めてみたい方、農業の現場を知りたい方を募集します。プロの農業者の生の声を聞き、現場を見て、体験できる絶好のチャンスです。ぜひご応募ください。

- 募集人数：若干名
- （18歳以上の方・性別不問）
- 日程：8月22日（火）～25日（金）の3泊4日
- 参加費用：15,000円
- 通いで参加の方 5,000円
- 宿泊場所：プロ農家である百姓先生宅
- 持参品：健康保険証の写し、洗面用具、着替え、農業体験できる作業着・靴等

詳しい概要は公社ホームページをご覧ください。

『ひやおろし』とは・・・

- ① 冬に仕込んだ新酒を一回のみ火入れする。
- ② 低温貯蔵で夏の間じっくり熟成させる。
- ③ 秋風が吹くころに出荷される日本酒です。

寝かせることで角が取れ、飲み口が良くまるやかで味わい深いのが特徴です。

脂の乗った秋の秋刀魚や冬の鍋物との相性は最高かも♪

純米大吟醸と特別純米酒2本セット、秋季限定及び数量限定にて販売いたします。

ご希望の方は、農業振興公社事務局にお問い合わせ下さい。

※20歳以上の方のみの販売とさせていただきます。

※1セット2本（純米大吟醸、特別純米酒 各1.8ℓ）

販売予定価格 8,800円（税込）

純米大吟醸

冷やおろし 2本セット